

# The Danube Quarterly

Monthly Version



月刊 PDF 版    2018 年 6 月号

盛田常夫 「シェンゲン協定域外」国への旅行

鷺尾 亜子 「ハンガリー・ニュースダイジェスト」

福田 和代 「ウィーン便り 生きるための偽装結婚」

桑名 一恵 「オペラ・オペレッタ・コンサート情報」

ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー  
GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

[www.gere-club-japan.com](http://www.gere-club-japan.com)

# GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



**KOPAR** 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。  
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、  
ハンガリー国内は200ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、  
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、  
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、  
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、  
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。



[www.gere-club-japan.com](http://www.gere-club-japan.com)

## 「シェンゲン協定域外」国への旅行

盛田 常夫

### 旧ソ連圏の入国管理

1989 年から始まったソ連・東欧圏の体制転換によって、この地域への旅行の仕方も大きく変わった。とくに、2004 年の中欧諸国の EU 加盟後、西欧と中・東欧がパスポートコントロールなしで往来できるようになり、人と物の往来が活発になった。

旧ソ連諸国への旅行は事前のホテル予約がビザ取得の条件になっていたから、ソ連の国営旅行社を通さないと個人旅行はできなかった。中・東欧の国を含めて、旧ソ連圏は入国管理が統一化されていて、どの国を訪問しても同じ制服を着ていて、居丈高に審査する係官の態度に憤慨したものだ。ハンガリーの入国管理官の態度も、ソ連諸国のそれと大差なかった。

体制転換後もこうした横柄な国境審査が続いた。ハンガリーでも、入国管理官がいくら外貨を持っているかを紙に書けと言って、紙切れと鉛筆を出すことが何度かあった。「ちゃんとした申告用紙をくれれば書く」と言ったら、「文句があるなら、後で議論するから、列の後ろに並び直せ」と答えるのが常だった。不満がある奴は冷遇してやるという態度が明々白々だった。また、ロシアへ出国する際に、税関官吏がいくら外貨を持っているかと聞き、さらに財布の中身を調べたこともある。ロシアの税関でこれをやられると、大概、別室に連れて行かれて数百ドルは引き抜かれるが、幸い、ハンガリーの税関はそこまでしなかった。しかし、口頭申告額と実際額が異なると面倒だ。銀行の引き出し証明書を出せという場合もある。クレジットカードが通用する時代に、たかが千ドル程度の現金所持に目を光らせるやり方に憤慨して、出張から戻った後、与党の国会議員を通して、大蔵大臣に質問状を送った。日本商工会と外務大臣との対話の際には、旧ソ連型の入国管理システムを止める意思はないのかと質問したこともある。

かくように、入国管理官や税関職員は権力を笠に着て、居丈高に振る舞うのが一般

的だ。下級官吏はこうして自らの存在を誇示する。こういうところでは、袖の下が横行する。体制転換直後はどこもビザ取得のシステムが混乱していたから、空港や国境でビザを取るときには、パスポートに 10 ドル程度の札を挟んだり、向こうの言い値でビザ料金を払ったりしたものだ。

面白いことに、1990 年代のロシアの空港の入国管理システムが年々改善され、木製の閉ざされたボックスからガラス張りのボックスに変わり、それがオープンデスクに変わった。終（しま）いには、窓口のガラスに「係官の要求に応じて、金品を提供しないように」という張り紙が出るようになった。まるで「勝手に餌を上げないでください」、という動物園の張り紙みたいで苦笑した。

ただ、ロシアでは入国管理が透明化しても、外貨の申告や所持金額の間違いがあると、税関係官が裏金を要求する慣行は長い間続いた。

### EU 内の自由移動とシェンゲン協定

もう旧ソ連諸国を旅することもないので、国境管理や税関の対応がどう変わったのか知らないが、旧ユーゴスラヴィアの一部の国（EU に加盟しているクロアチアとスロヴェニア以外のセルビア、マケドニア、コソヴォ、ボスニア＝ヘルツゴビナ、モンテネグロ）を除き、ヨーロッパの旧社会主義国は EU に加盟しているので、いったん EU 国に入国した後は、日本人の域内旅行はビザやパスポートコントロールなしで自由に移動できるようになった。

ところが、同じ EU 加盟国でも、自由移動を取り決めたシェンゲン協定の未加盟国（たとえば、イギリスやクロアチア、ブルガリア、ルーマニア）へ入国する場合、同じ EU 国同士の移動でも、形だけとはいえ、入国管理＝パスポートコントロールが実施される。また、EU 国と非 EU 国との間の出入国には、当然のことながら、厳格なパスポートコントロールがある。

EU 国外（あるいは EU 加盟国でもシェンゲン協定国外）からハンガリーへ到着した場合、ハンガリーで入国審査が行われる。空港の入国審査窓口の数が限られているので、審査を待つ長い行列ができ、入国審査を受けるまで 1 時間以上かかることも稀ではない。欧州旅行に際しては、最初にどこに入国するのかで、その後の移動の際のパスポートコントロールのチェックポイントが異なってくる。また、移動国がシェンゲン加盟国なのかどうかを調べておくことも重要だ。

### クロアチア国境

個人旅行（乗用車での移動）と団体旅行（バスでの移動）でも、入国審査の扱いが異なる。シェンゲン協定外の国でも、ビザなし入国が認められている諸国での個人旅行者の入国は比較的短時間で済むが、バス旅行の場合には全員のパスポートのチェックがあるので、それなりの時間がかかる。順番待ちの行列がない場合でも、最低 30 分は見込んでおく必要がある。

この 4 月末、ミニバスでハンガリーからクロアチアの国境に到着した折、ブダペストから到着したクロアチアの国際長距離バス 1 台が待機していた。チェックポイントには二つの小さな事務所が隣り合わせで並んでいるが、人の気配が全くない。入国に関する情報掲示がまったくないので、入国審査がどう行われているのか見当もつかない。そのうち、係官が出てきて、国際長距離バス乗客のパスポートの束が運転手に返却されたが、発車する気配がない。長距離バスの乗客にビザ問題を抱えている者がいたのだ。ハンガリーへのシングルビザを持ち、ハンガリーからいったん出国してクロアチアへ旅行しようとしたが、クロアチアの入国ビザがないので、ハンガリーへ戻るように指示されたようだ。

2 名の旅行者がバスから降ろされ、長距離バスが発出し、我々のグループの審査になった。入出国の体制がどうなっているのか分からなかったが、ハンガリーの若い係官にパスポートの束を渡した。しばらくしてから、「ハンガリーの出国は済んだ」という。ところが、隣のクロアチアの事務所は、係官の交代時間なので交代要員が何時来るか、30 分ほどかかるかもしれないという。なんともんびりした話だが、急かしてど

うなることでもないから、雑談しながらクロアチアの係官が到着するのを待った。

15 分ほど待ってクロアチアの係官が来て、パスポートチェックが終わり、通行可能となった。この間、パスポートの本人確認はなく、バスの中の検査もなく、あっけなくクロアチアへ入国した。ビザが不要な国からの旅行者の扱いは簡便化されている。クロアチアもハンガリーと同様に EU 加盟国だが、クロアチアはまだシェンゲン協定に参加していないので、ここで形だけの入国審査が実行されたのだ。

### ドブロブニクからサラエヴォへ

今回の旅行はザグレブで 1 泊し、そこからスプリットを経由して、名勝地ドブロブニクで 2 泊するものだった。体制転換以後、クロアチアのアドリア海沿岸一帯は一大リゾート地に発展し、ドブロブニクには高級ホテルが乱立している。5 月初めというのに、ドブロブニクの旧市街には観光客が溢れている。

帰路はドブロブニクからボスニア＝ヘルツゴビナの首都サラエヴォを通して、ハンガリー南部の赤ワインの産地、ヴィッラーニへの移動を計画した。この行程の道路事情や国境管理の情報がなく、ぶっつけ本番だった。

ドブロブニクからサラエヴォへは山岳地帯を通るおよそ 400km の道のりである。少なくとも 6 時間を見込んでおかなければならない。ドブロブニクを出て間もなく、クロアチアとボスニア＝ヘルツゴビナ国境に着いた。ここで要求されたのが、Inter Bus という緑色の旅程申告用紙だ。ハンガリーからクロアチアへはいる時には要求されなかった書類だが、運転手が記入を忘れていた。そこで、急いで旅程と乗客名簿を作成し、パスポートを提出した。ボスニア側（とおぼしき）の係官は、クロアチア入国の際に用意しておくものと苦言を呈していたが、運転手が平身低頭で見逃してもらった。近くで観察していたら、クロアチアの係官は、古いスキャナーでパスポートの顔写真が張ってあるページをスキャンしていた。

この国境ではクロアチアとボスニア＝ヘルツゴビナの出入国管理が二つの小さなボックスで行われていたが、何の表示もない

ので、どちらがどの国の事務所が判別できなかった。

ここでも、パスポートと本人確認はなく、パスポートをスキャンし、Inter Bus 用紙への押印が終わって、通過が許可された。この間、およそ 30～40 分の時間であった。

ユーゴ内戦の残骸が残る山道を 5 時間近く走り、サラエヴォに到着した。ユーゴ内戦から 25 年経過して、かなりの程度まで戦災の修復が終わっているが、手つかずの建物の壁には銃弾・砲弾の後が生々しく残っている。昼食を早々と済ませ、ハンガリーへ向けて出発した。赤ワイン産地ヴィラーニイへ入る国境は夜の 8 時で閉まる。まだ 400km の行程が残っている。これから 5 時間 30 分でそこへ到着しなければならない。

サラエヴォから再びクロアチア国境に向けて走る道路は良く整備されていた。ここは高速道路が建設されており、スムーズに移動できた。しかし、再び、ボスニア＝ヘルツゴビナ国境を通過しなければならない。

国境ではバスから全員がおろされ、初めてパスポートと本人確認が行われた。国境の緩衝地帯をしばらく走って、今度はクロアチアの入国管理の審査となった。ここもパスポートと本人確認が行われた。幸い、バス路線には審査待機するバスがおらず、比較的早く通過できたが、自由移動が制限されている EU 外・シェンゲン協定外の諸国の移動の不自由さを実感せざるを得なかった。

### クロアチアから再びハンガリーへ

クロアチアへ入国した後は、ハンガリー国境に向けて、トイレ休憩もなしに急いだ。クロアチアとハンガリー国境に到着したのは国境が閉まる 10 分前だった。もし国境が閉まってしまうと、翌朝までバスに泊まるか、幹線道路の国境へ移動しなければならない。とにかく何とか間に合った。

この国境には両国の入国管理事務所が併設されていて、それぞれパスポートと本人確認が行われた。クロアチアの窓口に並び、それが終わるとハンガリーの窓口に並ぶ。判を押してもらって、バスに乗り込むだけだから、20 分程度で出入国が終わった。後はホテルに連絡して、到着時刻を伝えるだけだった。

それにしても、ドブロブニクからハンガリーへ戻る行程は、見るところもほとんどなく、入出国管理の煩雑だけが印象に残る旅だった。旅行を計画するにあたって、ハンガリーのバス旅行会社にオーダーメイドのバス旅行を打診したが、どこも引き受けてくれなかった。ドブロブニクからハンガリーへ戻る行程を体験してみると、こういう周回旅行は旅行会社にとってメリットがないことが分かった。だから、個人でバスを手配し、自分たちでホテルを手配するしかなかった。

久しぶりに旧社会主義国の入出国管理を体験し、旧体制時代の経験を思いだした。国境通過の面倒さや、入出国官吏の行動様式に、一昔前の記憶が蘇った。時折、旅行者を叱責するような声も聞いたが、昔ほど居丈高ではなく、仕事にも力が入っていない様子だった。クロアチアの入出国で、本人確認があつたりなかったり、ビザが不要な外国人の扱いのシステムが統一されていない。たんにルーティン業務をやるだけという態度だった。

レンタカーでも個人の乗用車でも、ボスニア＝ヘルツゴビナを旅行する場合には、欧州の車両保険が適用されないことに注意しなければならない。ここで事故にあうと保障がないし、車両移動もままならない。山岳地帯で車が止まってしまうと、脱出に相当長い時間が必要になる。十分に気を付ける必要がある。

関連する記事は

<http://morita-from-hungary.com>  
を参照されたい

## ハンガリー・ニュースダイジェスト

鷲尾 亜子

### 第4次オルバーン政権設立関連

#### オルバーン首相が再選 4 期目に「キリスト教民主主義目指す」

与党 Fidesz（フィデス）オルバーン・ヴィクトル党首は首相として、選挙後の初国会で再選された。首相就任は 4 回目（1998～2002; 2010～2014; 2014～2018 ; 2018～）。

オルバーン氏は、「有権者の意思」を実現する形で国益第一（「ハンガリーファースト」）、また国境管理の徹底、EU 域内の移民受け入れ割当の拒絶を続けると表明。人口増大に転換するよう家族支援の拡充、福祉ではなく就労に基づいた国家づくりも続ける方針を示した。

さらに、「リベラル民主主義」の時代は終焉と述べ、これからは「キリスト教民主主義」を創り上げるとした。「キリスト教民主主義」とは、伝統的家族の支援、グローバリズム・イデオロギーの拒否、完全雇用、女性平等の重要視、反ユダヤ主義増幅への阻止であると定義づけた。並行してキリスト教伝統文化を守ると繰り返し発言。

オルバーン首相と言えば、2015 年夏にリベラル民主主義を否定した発言をし、その代わりに「非リベラル民主主義」という言葉を使ったことで知られる。これがその後、国内外でオルバーン政権が批判される際のキーワードにもなってきた。しかし今後、オルバーン氏らは、肯定的なイメージの方が大きい「キリスト教民主主義」に名前を変え、自らの体制を表すようになるだろう。

#### 長期ビジョン —「30 年までに EU トップ 5 入り」

オルバーン首相は再選にあたり、中東欧地域の経済成長が西欧諸国よりも速いことを挙げ、欧州での経済の重心は東に移って

いるとも強調。1989 年—90 年の体制転換時には「欧州が我々の未来」だったが、これからは「我々」が欧州の未来と述べた。

また、任期は 4 年だが、2030 年までを念頭に置いているとし、それまでにハンガリーを EU 内で最も暮らしやすく働きやすい国のトップ 5 入りをさせるとビジョンを示した。

#### 新内閣、外相らは留任 首相周辺権限の強化

オルバーン首相の再選後まもなく、第 4 次内閣が設立された。引き続き 10 省体制だが、国家経済省は財務省に、国家開発省は革新技术省になるなど一部で変更があった。大臣は 14 人。スィーヤールト・ペーテル外務貿易大臣、ヴァルガ・ミハーイ財務大臣、ピンテール・シャーンドル内務大臣など約半分は留任した。一方、人材大臣には民間から腫瘍学権威のカーシュレル・ミクローシュ氏が、また国防大臣にはハンガリー軍制服組トップのベンケー・ティボル氏が抜擢された。

他方、「司令塔」としての首相直轄の組織が拡充された。これまでの①首相官房庁、②首相府省の他に、③首相政府局が創設された。①はロガー・アンタル大臣が留任、②はラーザール・ヤーノシュ氏からグヤーシュ・ゲルゲイ大臣に、③の長にはビーロー・マルツェル氏が登用された。（大臣級ではなく次官級）

#### 新国会設立

総選挙後の国会が 8 日、正式に設立された。議長にはクヴェール・ラースロー氏（Fidesz）が再選された。会派は与党は Fidesz（フィデス・117 人）と KDNP（キリスト教民主国民党・16 人）。野党は Jobbik（ヨッビク・26 人）、MSZP（社会党・15 人）、DK（民主連合・9 人）、LMP（政治

の新しい形・9人) Párbeszéd (対話・5人)。

初召集の日には、夕方から反政府デモ「我々こそが多数派!」の第3弾が国会議事堂前のコシュット広場で行われた。参加者数は、第1回、第2回よりは減少し、推定数千人程度。警察隊との衝突はなかった。

---

### オープンソサエティ財団、ベルリン移管を発表

「オープンソサエティ財団(OSF)」は、ブダペスト市内の事務所を夏に閉鎖しベルリンへ移管することを正式に発表した。

OSFは、米著名投機家ジョージ・ソロス氏が設立した財団。ハンガリー現政権はソロス氏のことを「自らの『開かれた社会』構想実現のため違法移民を欧州に大量に入れようとしている」と敵視している。

OSFは移転の理由として、オルバーン第4次政権下でのNGO活動がより制限されること、スタッフの安全などを挙げた。政権は移民支援などを行うNGOの規制を強化する「ストップ・ソロス」包括法案を6月中にも国会で成立させる見込み。その中には、移民支援活動を内務省の許可制にすること、外国からの資金援助が国内よりも多い場合、前者には25%課税することなどが含まれる。ブダペスト事務所は、ハンガリー国内の活動だけではなく、受け取る資金を他の東欧諸国らの活動やNGOにも分配している。

---

## 経 済

### 2018-22年は成長率4%台計画

政府が欧州委員会に提出した2018-2022年の経済収斂プログラムでは、毎年4%台の経済成長を見込んでいる。成長率をEU平均より高く保つことで、西欧側との格差を縮小していく。競争力と生産性の向上をカギとする。

財政赤字は、EU基準のGDP比3%を毎年満たすのは当然のこと、2022年にはキャッシュフローベースで赤字ゼロ予算編成を

目標にする。また、一般政府債務残高は2022年にEU基準GDP比60%まで削減する。

失業率は2018年の3.6%から2022年には2.4%へさらなる低下を見込み、完全雇用を目標とする。

### マジャル・スズキ、操業25周年

日系自動車メーカー マジャル・スズキ(Magyar Suzuki Zrt. 本社エステルゴム市)は、1993年5月7日に工場の竣工式を挙げて以来、25周年を迎えた。

竣工式が行われた当時に生産されていたスイフト(Swift)はエンジン1000cm<sup>3</sup>、基本モデルは80万フォリントだった。旧共産主義国で生産されていたダチア(Dacia)やラーダ(Lada)よりは高価だったが、西側のフォルクスワーゲン・ゴルフ(VW Golf)やオペル・アストラ(Opel Astra)よりは安価だった。

### GDP1-3月期、前期比+1.2%

中央統計局(KSH)の速報によると、2018年第1四半期(1-3月期)の国内総生産(GDP)速報値は前期比+1.2%増(季節・暦調整後)だった。前年比では+4.7%(季節・暦調整後)と、10-12月期の伸び率とほぼ同水準(未調整値は4.4%) KSHは6月に詳細を発表する。

---

## その他

### ミーアキャット死亡事件で大騒ぎ

小学5年生の男児がケチケメート動物園で、ミーアキャットの「ザラ」を死亡させた事件が、国内で騒ぎとなった。

報道内容をまとめると、遠足で同園を訪れた男児は、禁止されているにもかかわらず手を伸ばし、ザラを棒でつついたとのこと。そのためザラが指先に咬みつきの、驚いた男児はザラを投げつけた。ザラはほぼ即死だった。解剖の結果、ザラは2匹を身ごもっていたことが明らかに。

その後、ザラの育て親でもあるトコヴィチ・タマーシュ園長が悲しみのあまりフェイスブックに投稿。それがニュースサイトに拾われ、瞬く間に広がり、男児への批判コメントが殺到。ネットリンチに近い形に発展した。

男児の父は、息子の間違いを認めつつも、飼育場所を檻で囲いきっていない動物園側の責任も指摘。また事件直後の園側の対応

も、少年よりも動物を優先させたと批判した。

#### 自由橋、この夏も週末は歩行者天国に

ブダペスト市内の自由橋（Szabadság híd）は、この夏も週末、歩行者天国になる。

7/14～8/5 まで 4 回予定。

2016 年に実施したのが非常に好評で、以来、3 年連続となる。過去には橋でヨガあり、ピクニックや BBQ あり。芝生の絨毯を敷き詰めたこともあった。

筆者の関連記事は以下を参照

[https://twitter.com/ako\\_washio](https://twitter.com/ako_washio)  
<http://hungarybusinessnews.net/>



## ハンガリー暮らしの健康手帖

健康医療関連の情報を提供・交換・共有できる場を作りたいと思い  
在住者の総合ブログを立ち上げました。どうぞご覧ください。  
<http://health-note-hu.net>



## 福田 和代のウィーン便り

### 生き残るための偽装結婚

ユダヤ広場博物館 Jüdisches Museum Wien  
Judenplatz（1区 Judenplatz 8）は興味深い企画展「迫害・婚約・結婚」を開催している。1938年3月、ナチスドイツのオーストリア併合により、オーストリアのユダヤ人にとって生と死は時間の問題だった。ナチスによる迫害から逃れるため、亡命に成功したユダヤ人もいたが、オーストリア国内にいて処刑されたり、のちに強制収容所送りになった者も多い。ウィーンのユダヤ人女性の中には外国人と偽装結婚し国外脱出を試みた者がいた。すでに亡命して国外にいたユダヤ人女性も、無国籍を避けるため、職を得るために、偽装結婚した。このことは最近になって本人や家族や友人が語り始めている。ユダヤ広場博物館の企画展はそのようなウィーン女性の中から13人を選び、様々な運命を紹介している。

この13人の女性の中で、生き残ることができて再びウィーンで活躍する劇場支配人ステラ・カドモン Stella Kadmon と、生き残ることができずにアウシュヴィッツで殺されたヴァイオリニストのアルマ・ロゼ Alma Rosé を紹介したい。二人の名は今、ウィーンの町名に残されている。

ステラ・カドモンは1902年ウィーンに生まれ、アカデミー（現ウィーン音大）で演劇を学び、ウィーンだけでなくドイツ各地でも舞台女優として活躍し、1931年にはカフェ・プリュッケル（1区）の地下に小舞台を創設して支配人となった。しかしこの小劇場は1938年のオーストリア併合で閉鎖された。危機の迫ったステラ・カドモンは母親と弟と共に、在オーストリア・ギリシャ大使館が発行してくれた出国ヴィザのおかげで、親戚のいるベオグラードに向かう。しかしベオグラードの当局は不法滞在だとしたため、家族はそこに長期滞在はできず、出国命令が出ていた。観光ヴィザでパレスティナに入国するために必要なお金は家族全員分はなかった。そこ

でステラは、ユーゴスラヴィアの国籍をとって無料でパレスティナへの観光ヴィザを得るにはユーゴスラヴィアの国籍を持つ従兄のボビー・カドモンと偽装結婚するしかないという結論に至った。国籍を取るには最低6か月の結婚生活が必要だった。ようやくパレスティナに入国できたステラ・カドモンは、そこでも小演劇活動を行い、1947年にパレスティナから171人と共に故郷ウィーンに帰還した。ウィーンの劇場で再び活躍し、数々の荣誉に輝き、1989年にウィーンで亡くなった。偽装結婚についてはずっと口を閉ざしていたが、ついに晩年になって語り、またギリシャ大使館にはいつも感謝の気持ちを忘れなかったと述べている。ドナウ運河のほとりにある1区の住居には記念銘板がついている。



ステラ・カドモン

不条理な多くの困難と苦境に直面しても、これを

乗り越えて天職を全うした女優ステラ・カドモンとは逆に、ヴァイオリン演奏家アルマ・ロゼの場合はあまりにも残酷で悲しい。1906 年ウィーン生まれで、父アルノルト・ロゼは宮廷歌劇場管弦楽団のコンサートマスター、ウィーン・フィル団員、ロゼ弦楽四重奏団のリーダーだった。母は作曲家グスタフ・マーラーの妹。アルマという名前は、叔父グスタフ・マーラーの妻で画家アシンドラーの娘アルマからもらっている。父アルノルトの弟でロゼ弦楽四重奏団のチェリストである叔父のエドゥアルトの妻もグスタフ・マーラーの妹である。アルマ・ロゼは当時のウィーンの音楽界のエリートファミリーとして幼い時からヴァイオリンの手ほどきを受け、20 歳で楽友協会にデビューしている。

1930 年にチェコのヴァイオリニストと結婚しプラハに移り住み、チェコスロヴァキアの国籍も得た。これは後に父の亡命に大いに役立つ。1935 年に離婚してウィーンに戻って演奏活動を続けた。1938 年のオーストリア併合で、父と共にロンドンに逃げ、その後アルマだけはオランダで演奏活動を行っていた。

しかしオランダが 1940 年ナチスドイツに占領される前に、アルマは英国ヴィザを延長できずロンドンに帰ることができなかった。強制収容所にいつ送られてもおかしくない状況で、唯一の望みはユダヤ人でない男性と偽装結婚することだった。1942 年にオランダ人と結婚したが、ナチスドイツはユダヤ人と非ユダヤ人との結婚を禁止し、アルマは窮地に立たされた。フランスに逃げるがゲシュタポに逮捕され、現地の国際収容所に数か月間監禁された後、数千人と共にアウシュヴィッツ強制収容所に家畜用列車で 3 日ばかりで運ばれた。

アウシュヴィッツでは女性オーケストラのリーダー（指揮とヴァイオリン）になって、一時的に命を取り留めることはできたが、1944 年 4 月、36 歳で亡くなった。死因は 2 日前に食べたものによる食中毒と推定されているが、毒殺説もある。女性オーケストラのその他の団員は生き残り、アウシュヴィッツでのオーケストラの体験を記録した者もいる。



アルマ・ロゼ

# 日本人学校PTAバザー

Japán Iskola bazár

Japanese School bazaar

日時/dátum/date

30 JUNE, 2018 13:00~15:00

雨天決行

eső esetén is megtartjuk a rendezvényt

rain or shine

場所/hely/place

ヴィラーニョシュ校

Virányos Iskola / Virányos School

衣類・雑貨・おもちゃ・お菓子詰め合わせ（市販品）などを販売する予定です。  
皆様のご来場をおまちしております。

買い物袋をご持参下さい。

12:50より子供優先入場となります。但し、大人の付添い不可ですのでご了承  
ください。

Ruhák・háztartási felszerelések, sós- és édes kekszek és játékok széles  
választékával. Várjuk Önöket szeretettel.

Mindenkit kérünk, hogy hozzon magával bevásárló szatyrot/táskát.

12:50-től belépés csak gyerekeknek! Felnőttek csak 13:00-tól mehetnek bel!

We're going to sell used clothes・convenience goods・snacks/sweets on  
the market, and toys etc.

If you have time, come and enjoy!

Please bring your own shopping bags.

Only children can enter the bazaar  
from 12:50.

Adults can enter from 13:00.

日本人学校 PTA

Japán Iskola szülői munkaközösség

Japanese School PTA



BP.XII. Virányos út 48.

# オペラ・オペレッタ・コンサート情報(2018年6月) 桑名一恵編集

☆エルケル劇場 1081 Budapest, Köztársaság tér 30

## 【オペラ】

**バルトーク/歌劇『青ひげ公の城』100周年公演**

June 04.Mon 19:00 プロローグ公演

June 05.Tue 19:00 初演

**Best of Ring**

June 11 Mon, 17:00

June 13.Wed 19:00

**シュトラウス/歌劇『サロメ』**

June 22.Fri 20:00

June 24 Sun 20:00

## 【バレエ】

**Gyula Harangozó Jr. / Tibor Kocsák**

白雪姫と7人の小人

June 03., Sun, 11:00

June 03., Sun, 18:00

June 06., Wed, 17:00

June 07., Thu, 19:00

June 08., Fri, 19:00

June 09., Sat, 11:00

June 09., Sat, 18:00

June 10., Sun, 18:00

**Pas de Quatre '18**

June 14.Thu 19:00

**第4回国際 Iván Nagy バレエガラ**

June 15.Fri 19:00

**Marianna Venekei / Tennessee Williams / László Dés**

**A Streetcar Named Desire**

会場：ジュール市国立劇場

June 20. Wed 19:00

## 【ミュージカル】

**Sir Elton John / Lee Hall**

**『BILLY ELLIOT - THE MUSICAL』**

June 19 Tue 11:00/19:00

June 20 Wed 11:00/19:00

June 21 Thu 11:00/19:00

June 22 Fri 11:00/19:00

June 23 Sat 11:00/19:00

June 24 Sun 11:00/19:00

June 26 Tue 11:00/19:00

June 27 Wed 11:00/19:00

June 28 Thu 11:00/19:00

June 29 Fri 11:00/19:00

June 30.Sat 11:00/19:00

July 03. Tue, 11:00/18:00

July 04. Wed 11:00/18:00

July 05 Thu 11:00/18:00

July 06 Fri 11:00/18:00

July 07 Sat 11:00/18:00

July 08 Sun 11:00/18:00

July 10 Tue 11:00/18:00

July 11 Wed 11:00/18:00

July 12 Thu 11:00/18:00

July 13 Fri 11:00/18:00

July 14 Sat 11:00/18:00

★『リングトー』0歳～3歳向け

会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

時間：6月7・14日木曜日 11時から 30分間

<http://www.opera.hu/musor/megtekint/ringato-2017/eloadas-201801111100/>

【ミュージカル・オペレッタ】 ☆ブダペスト・オペレッタ劇場 ☆Budapest, 6th district, Nagymező utca 17.

**伯爵令嬢マリツァ / カールマーン・イムレ**

06. 01. 19:00

**ドリアン・グレイ / Ács János-Várkonyi Mátyás**

06. 02. 19:00

06. 03. 19:00

06. 09. 19:00

**レベッカ / Lévy Szilveszter-Michael Kunze**

**リリ男爵夫人 / Huszka Jenő - Martos Ferenc**

06. 06. 19:00

**私と弟 / アイゼンマン・ミハーイ&シラーギ・ラースロー**

06. 09. 19:00

06. 10. 19:00

**ノートルダムの鐘 / アレン・メンケン**

06. 12. 19:00

|                                                       |                       |
|-------------------------------------------------------|-----------------------|
| 06. 02. 19:00                                         | 06. 13. 19:00         |
| 06. 03. 15:00                                         | 06. 16. 15:00 / 19:00 |
| 06. 03. 19:00                                         | 06. 17. 15:00 / 19:00 |
| 06. 04. 17:00                                         | 雨に唄えば/ グリーン・フェード・ブラウン |
| 06. 05. 17:00                                         | 06. 22. 19:00         |
| <b>The cat demon / Bella Máté - Karafiáth Orsolya</b> | 06. 23. 15:00/ 19:00  |
| 06. 06. 19:00                                         | 06. 24. 15:00         |
| 06. 07. 19:00                                         |                       |

【ダンス】ダンス公演には**小林 遥さん**が出演されています。

★国立ダンス劇場（Nemzeti táncszínház）<http://www.nemzetitancszinhaz.hu>

公演情報は随時掲載が更新されていますので、ご確認の上お出かけになられてください。

Facebook HP：<https://www.facebook.com/budapestdancetheatre>

ダンスカンパニーHP：<http://www.budapestdancetheatre.hu/>

<https://www.facebook.com/events/279768405480306/>

※国立オペラ座は2019年1月(予定)まで改修工事の為にクローズしており、現在はエルケル劇場/芸術宮殿(MŰPA)にて、公演をしています。

#### (コンサート情報)

■ワグナー・オペラフェスティバル 6月7-17日 会場：MŰPA(ハンガリー国立ホール)

<https://www.mupa.hu/en/events/budapest-wagner-days/budapest-wagner-days-2018>

7日(木)13日(水)16(土) トリスタンとイゾルデ 14日(木)17日(日) タンホイザー

8日(金)10日(日) さまよえるオランダ人

15日(金) カミラ・ナイルンド(ソプラノ、フィンランド) オペラガラコンサート

■オーブダ音楽祭 6月1-3日 会場：オーブダ集会場 Óbudai Társaskör

<http://www.budapestivonosok.hu/zenezug>

■6月17日 19:00開演 会場：聖イシュトヴァーン大聖堂

ブダペスト祝祭管弦楽団 入場無料 <http://dancingonthesquare.com/mission/>

公演：ジプシー音楽プログラムと参加型のダンスコンサート

♭ ソロ、 ※室内合奏団、 ♪ オーケストラ、 ♯ 室内楽、 ♪ 合唱音楽、 ∞ その他

※1日(金) 19:45 ブダペスト音楽センター

ブダペスト祝祭管弦楽団

クラロン・マクファデン(ソプラノ、アメリカ)

指揮・クラリネット:ヨルグ・ヴィットマン(ドイツ)

曲目:J.ヴィットマン作品

無伴奏クラリネットの為に3つのシャドーダンス

ソプラノ、オーボエ、室内合奏団の為にフーガ練習

♪2日(土)3日(日)15:30 リスト音楽院大ホール

ブダペスト祝祭管弦楽団

指揮:ジョルディ・サバル(スペイン)

曲目:バッハ:管弦楽組曲ニ長調 BWV 1069

ヘンデル:王宮の花火の音楽 HWV 351 その他

♪8日(金) 19:00 ナードルテレム

アニマムジカ室内合奏団

Aleksandra Šuklar(打楽器、セルビア)

曲目:ハンガリー人作曲家作品プログラム

センメルヴァイス弦楽四重奏団

♭9日(土) 20:00 ペシュティ・ヴィガドー

ドナウ交響楽団

指揮:デアーク・アンドラーシュ

曲目:ブダペストガラコンサートプログラム

※9日(土) 20:00 マーチャーシュ教会

ハンガリーヴィルトーゾ室内合奏団

曲目:Vivaldi, Corelli, Handel, Mozart, Bach,

Schubert, Liszt, Franck その他

| ♭ ソロ、 ※室内合奏団、 ♪ オーケストラ、 ♯ 室内楽、 ♪ 合唱音楽、 ∞ その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>♯9 日(土) 11:00 旧リスト音楽院ホール</p> <p>センメルヴァイス弦楽四重奏団</p> <p>曲目:ハイドン:弦楽四重奏ニ短調 op.42 Hob.III:43</p> <p>モーツァルト:弦楽五重奏 K.516 その他</p> <p>♪10 日(日) 19:00 デアーク広場福音派教会</p> <p>ボーディ・ゾフィア(ソプラノ) ショック・アタラ(アルト)</p> <p>ムック・ヨーゼフ(テノール) イェクル・ラースロー(バス)</p> <p>ワイナーサーズ室内合奏団</p> <p>指揮:カンパ・サラモン 曲目:カンタータの夜</p> <p>バッハ:「魂はイエスの手にて憩う」BWV 127</p> <p>「主なる神よ、我らはみな汝を称えん」 BWV 130</p> <p>♯14 日(木) 18:00 バルトーク記念館</p> <p>ケルテシ・イングリッド(ソプラノ)</p> <p>メラニー・アンドレア(メゾソプラノ)</p> <p>ヴィラーグ・エメシェ(ピアノ)</p> <p>曲目:オルバーン・ジュルジ:妖精の夢 IV より</p> <p>ソロ曲と2重奏</p> <p>♪15 日(金) 18:00 フェステティッチ宮殿</p> <p>マーヴ交響楽団</p> <p>コヴァーチ・ゾルターン(ファゴット)</p> <p>指揮:タカーチ・ナジ・ガーボル</p> <p>曲目:バッハ:組曲第3番 BWV 1068</p> <p>モーツァルト:ファゴット協奏曲</p> <p>ハイドン:交響曲 No.91 変ホ長調</p> <p>♪15 日(金)20:00 マルギット島野外ステージ</p> <p>ハンガリー国立オーケストラ&amp;合唱団</p> <p>ミクラーシュ・エリカ(ソプラノ)</p> <p>モルナール・レベンテ(バリトン)</p> <p>フレイ・バラージュ(ピアノ)</p> <p>指揮:ハマル・ジョルト</p> <p>曲目:ドホナーニ:ピアノ協奏曲第1番</p> <p>オルフ:カルミナ・ブラーナ</p> <p>♪15 日(金)20:00 マーチャーシュ教会</p> <p>ファイロニ室内合奏団</p> <p>ケルテシ・イングリッド(ソプラノ)</p> <p>曲目:バッハ、ヴィヴァルディー、コレリ、フランク</p> <p>モーツァルト、エルガー その他</p> <p>♭18 日(月)19:00 オーブダ集会場</p> <p>バログ・ヨーゼフ(ピアノ)</p> <p>曲目:ガーシュイン作品</p> <p>Wolf P é ter: Wolf-temperiertes Klavier より</p> | <p>※20 日(水)19:00 オーブダ集会場</p> <p>アニマムジカ室内合奏団 8周年記念コンサート</p> <p>ローラ・ヤーノシュ(ヴァイオリン)</p> <p>エルデイ・タマーシュ(ピアノ)</p> <p>曲目:モーツァルト:アダージョとフーガ K. 546</p> <p>モーツァルト:ピアノ協奏曲ニ短調 K. 466</p> <p>モーツァルト:ディヴェルティメント No. 17</p> <p>♪21 日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール</p> <p>ボストンユースオーケストラ</p> <p>指揮:ベンジャミン・ゼンダー(イギリス)</p> <p>曲目:マーラー:交響曲第9番</p> <p>♪21 日(木) 19:30 ペシュティ・ヴィガドール</p> <p>3リバー・ユースオーケストラ・ピッツバーグ(アメリカ)</p> <p>指揮:ジョン・ヴィツコック(イギリス)</p> <p>曲目:バルトーク:管弦楽組曲より2・3楽章</p> <p>エネスコ:ルーマニア狂詩曲第1番</p> <p>ドヴォルザーク:交響曲第8番 その他</p> <p>※23 日(土) 20:00 マーチャーシュ教会</p> <p>ショルティー室内合奏団</p> <p>曲目:クラシックの夜プログラム</p> <p>♪25 日(月) 19:00 MOM 文化センター</p> <p>国際指揮者講習会 2018 コンサート</p> <p>ソルノク市交響楽団</p> <p>指揮:受講生</p> <p>曲目:ベートーベン:交響曲第5番第1楽章</p> <p>ベートーベン:交響曲第7番第1楽章</p> <p>メンデルスゾーン:交響曲第92番『イタリア』</p> <p>コダーイ:ガランタ舞曲 その他</p> <p>♪28 日(木) 20:00 ブダペスト市役所装飾の間</p> <p>コンチェルト・ブダペスト</p> <p>カツアンダー・オルショヤ(フルート)</p> <p>クルニエイ・ジョーフィア(ヴァイオリン)</p> <p>指揮・ヴァイオリン:ケーラー・アンドラーシュ</p> <p>曲目:バッハ:ロ長調 組曲 BWV 1067</p> <p>バッハ:2つのヴァイオリンの為の協奏曲</p> <p>ヴィヴァルディー:ヴァイオリン協奏曲ニ長調</p> <p>♪29 日(金) 19:00 オーブダ中央広場</p> <p>オーブダ・ダヌビア交響楽団</p> <p>指揮:ハモーリ・マーテー</p> <p>曲目:映画音楽プログラム</p> <p>ジョーズ、E.T.,ハリーポッター、スターウォーズ</p> |

## ～会場～

- ・芸術宮殿 バルトークホール / Művészetek Palotája, Bartók Béla Nemzeti Hangversenyterem  
IX. Komor Marcell u. 1., Tel.: 555-3000
- ・リスト音楽院 / Zeneakadémia VI. Liszt Ferenc tér 8., Tel.: 342-0179
- ・旧リスト音楽院/ Régi Zenekadémia VI. Vörösmarty u. 35 tel. 322-9804
- ・マーチャーシュ教会/Mátyás-templom I.Szentháromság tér 2.
- ・フェシュティチ宮殿/ Festetics Palota VIII. Pollack Mihály tér 3
- ・ナードルテレム/ Nádor-terem XIV. Ajtósi Dürer sor 3
- ・バルトーク記念館/ Bartók Béla Emlékház II. Csalán u. 29. T E L : 394-2100
- ・ブダペスト市役所装飾の間/ Pesti Vármegyeház díszudvara V. Városház utca 7 TEL: 485-6800
- ・オーブダ集会場/ Óbudai Társaskör III. Kiskorona u. 7 TEL:335-8330
- ・オーブダ中央広場/ Óbudai Fő tér 1033 Budapest, III. kerület, Fő tér
- ・マルギット島野外ステージ/Margitszigeti Szabadtéri Színpad 1122 Budapest, XII. kerület, Margitsziget
- ・デアーク広場福音教会/ Deák téri evangélikus templom V. Deák tér 4.
- ・ブダペスト音楽センター/ Budapest Music Center IX. Mátyás u. 8. TEL. 216-7895
- ・MOM 文化会館/ MOM Kulturális Központ XII. Csörsz u. 18. TEL.: 319-9854
- ・ペシュティ・ヴィガドー装飾の間 / Pesti Vigadó, Díszterem V. Vigadó tér 2.